

ここが聞きたい② Q & A

— 第5回 臨時会 —

21年、第5回臨時会は、7月10日に開かれ、3報告、2議案を原案どおり可決した。

■専決処分の報告

☆物損事故の和解

4月19日に池川保健福祉センター建物の一部に損害を与えた物損事故の和解

内容

(一)相手方は、修理業者に22万500円を支払う。
(二)今後、一切の異議申し立て、請求を行わない。

(全員 可決)

☆交通事故の和解

3月12日に北浦、国道で発生した、町有自動車に損害を与えた交通事故の和解

内容

(一)相手方は、修理業者に88万2400円を支払う。
(二)今後、一切の異議申し立て、請求を行わない。

(全員 可決)

☆工事名

町道高瀬線道路災害復旧工事請負契約の変更
変更前の金額
1億2386万1000円

変更後の金額

1億2583万5150円

0円

契約の相手方
株式会社上岡工務店

変更理由

掘削土量や台座コンクリートが増えるため。

(全員 可決)

■21年度一般会計補正予算(第2号)

3億5947万円を追加し、総額を70億29万円とするもの

主な補正は、地域活性化経済危機対策臨時交付金事業で、町内全世帯へ配布する住宅用火災報知器2252万円、ふたば

保育所太陽光発電設置工事1060万円、町道、農道設備工事8750万円、林道緊急整備事業、林道2路線4936万円、消防ポンプ自動車及

び小型ポンプ付積載車3761万円、バイオマスエネルギー地域システム化実験事業による新破碎設備導入再委託事業6874万円の補正。



バイオマス (佐川・川内ヶ谷)



町内全世帯へ配布する火災報知器

火災報知器

問 農本規仁議員

火災報知器の単価と品物は。

答 総務課長

3300円相当の品物を各家庭に2個、3241世帯に計画、町営住宅を除く。



地すべり防止工事（松木）

■むらづくり交付金事業
松木地区農地保全施

問 橋本真一議員
火災報知器の取り付けは。
答 総務課長
65歳以上の独居老人の家庭にはシルバー人材センターに付けてもらうよう考えている。

（全員 可決）

設工事請負契約の締結
契約の方法
指名競争入札
契約金額
7980万円
契約の相手方
有限会社 藤原建設
地すべりによる、松木地区の農地及び農道松木線の崩壊を防止するため、昨年度までに排水ボーリング工事やアンカー工事を実施し、当初の予定では、22年度を完了予

定年度としていたが、作業工程や経済性などを考慮し、本年度に残事業をすべて施工、早期に安全を確保する。
本年度はアンカー工62本、受圧版工一式や索道工、仮設工事を実施するもの。
入札は6月29日に町内8業者で行った。工期は22年2月28日を予定。
（全員 可決）

国道439号改良促進 特別委員会報告

委員長 坂本 伝一



視察 秋升トンネル（秋升）

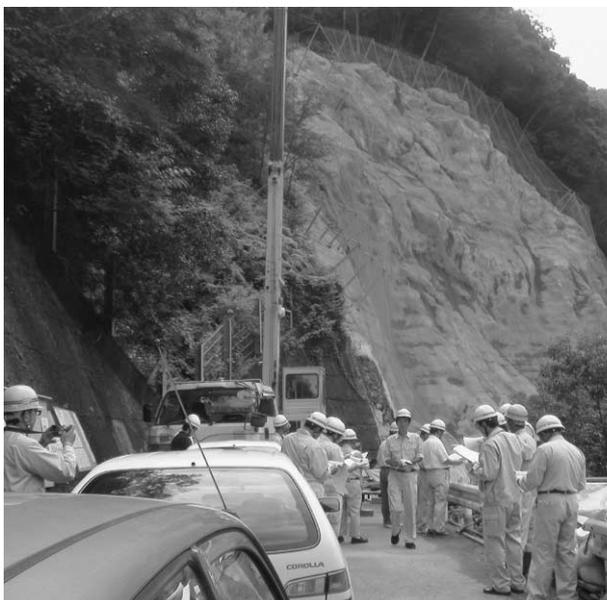
7月2日、委員全員と中央西土木事務所他13人で、委員会を開催した。
現地で、大植工区に21年度は2億8千万円の事業費が付き、21年、22年にかけて秋升トンネルを完成させ、23年には亀石橋から黒滝大橋までをバイパスとして使用できる計画をしている。また織合トンネル、矢筈トンネルは、国の経済変動等があり、現段階では見通しが立っていないなどの説明を受けた。

産業建設 常任委員会の報告

委員長 岡田 良成



林道下土居檜谷線

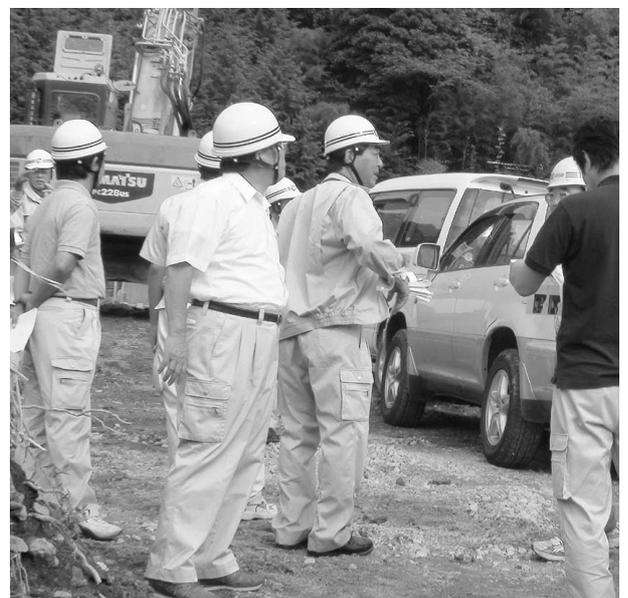


高瀬線災害復旧工事

9月3日午後1時より委員会を開会した。出席者は委員全員と町長、総務課長以下職員19人。現場の進行状況、パトロールを行った。
現場は、林道下土居檜谷線、田村多目的広場、高瀬線災害復旧工事、寺野駄場線の4箇所を調査を行った。午後4時30分より長者出張所で、意見交換会を行い、田村多目的広場は、地元の意見を取り入れ将来の展望に立った建設をすること。



田村多目的広場



寺野駄場線

高瀬線災害復旧工事は、下部工事部分がダム湖に面しているため、国交省に、要望をとの提言があった。
土木建設業者からは、公共事業が減少する中、地元業者にできるだけ、発注するよう要望があり、田村から池川までの国道に歩道を付けてほしいという要望があった。
今後、執行部は住民の意見を尊重し、要望にこたえる努力を期待する。

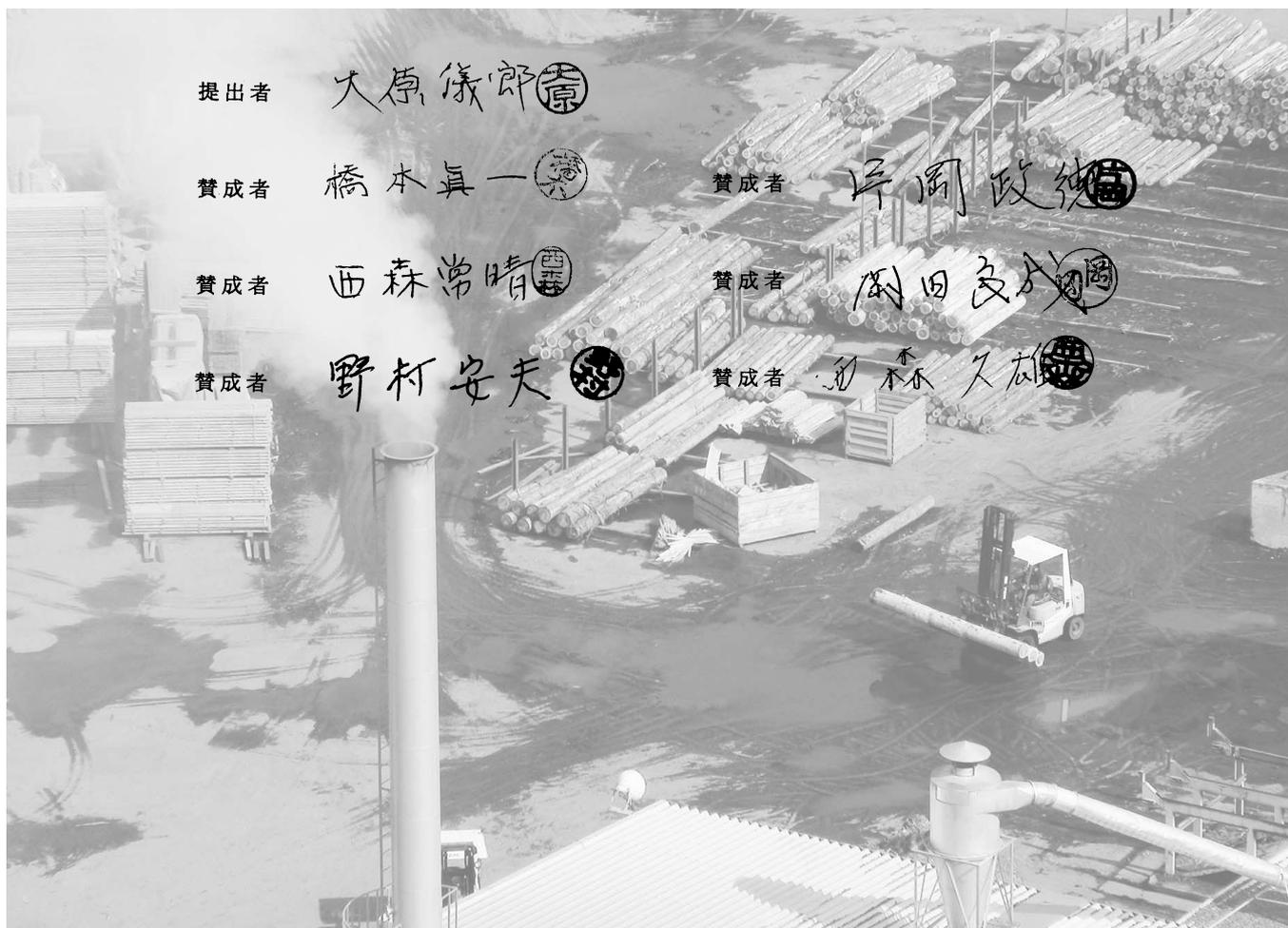
(株) ソニアを解散する決議

(株) ソニアは平成5年12月に設立され、現在までに15億6750万円を食い潰した。

先般の議員協議会でこれ以上経営を継続させることは難しいということで、7対5で解散すると決しました。よって、本会議場で解散決議をしたく、提出します。

平成21年9月18日提出

仁淀川町議会議長 若藤 敏久 殿



提出者 大原 儀郎 (印)

賛成者 橋本 真一 (印)

賛成者 西森 常晴 (印)

賛成者 野村 安夫 (印)

賛成者 片岡 政徳 (印)

賛成者 岡田 良成 (印)

賛成者 西森 久雄 (印)



今年も見事に咲かせました、長生きの薬と信じられた「菊」。尾崎幸次郎・季子夫妻（右・岩戸）は約20年、川崎満子さん（左・道芝）は菊造り30年のベテラン、見る人の心をなごませてくれます。

日記帳

Calendar table with dates and events from 7月1日 to 9月30日. Events include council meetings, committee work, and community activities.



私は、仁淀川町の監査委員をさせていただきます。そこで感想を述べたいと思います。

感想

不況の厳しさを身をもって感じている職員は少ないと思えました。町議会は、幹部に対してお褒めの言葉もあり、熱弁を奮う議員、鋭く追及する議員もありですが、どちらの将来を案じてのことだと思っております。

町職員は全体にまじめで、一生懸命仕事をしておりますが、一般社会から見ればまだ恵まれており、この命から守られておられる方が多いと思います。

この議会でも度々御意見が通ることもありますが、町職員は町内に住まわらずして、仁淀川町の将来を考えてもらっているのだろうか。見がけから通勤の職員は、町外から通勤の職員は、町内に住まわらずして、仁淀川町の将来を考えてもらっているのだろうか。

編集後記

見上げた空は満天の星空でした。今日とはちがう明日になるようお願いを届けたいです。(三鈴)

確保していた南瓜が、鼠にかじられ日々小さくなっていく。家族で食べたいのか。(安井)

秋深し、山々の木々も赤や黄色に色づき、すばらしい景観を楽しむ、今日この頃かな。(野村)

「あ」と言う間の四年、最後の編集後記で一言、本当の自然環境を望む、人も猪等も。(片岡)

あつという間の4年間でした。最後の編集後記も終わりました。御愛読感謝、感謝。(農本)

仁中の体育祭、久しぶりに鳥肌が立った「騎馬戦」。一生懸命は見る人の心を打ちます。(西森(常))